

産業貿易の不振を承すに至り。

他方国際競争は益々激甚となり、内地物價並に労銀の昂騰は依然として止まず、加ふるに輕佻詭激の氣風も又生ずるに至るとは我々國産業界の爲り實に寒心に堪へざる處なり。

斯る不況の時、不尙工場に既損失を豫想し、造船修繕の八兆、當り以て失業者を生ぜざるに勤し、又多大の職を擲り、毎月職工の選抜昇給を各人の生活状態並に技術と熱心とを考慮して賃銀の調整を計り、以て現下の生活難を緩和す。

手段と豫り勞々、銅當り費用を減らし、詳細な講習会を開き、従業員、家族、内職を授け、一面思想指導し、成人教育とを兼りて、因島工場青年夜學学校、因島文化講演会、並に雜誌を發行し、或ハ奨學金を支給し、以て凡習職工の訓育を當り等労働問題に對す

る苦心施設又容易ならずあり。

當工場が労働問題解決に對する誠意施設は斯く、如く多く識者、既に諒解せる處あり。

而し愈々勞資の協調を必要とし、相互協力一致して一工場として、国力の恢復を計るに於ても此悲境の大難關の突破を畫策すべき時に當り、多年信頼を來れる従業員而して、

一部少数者が従業員一同の代表なりと稱し、突然難問題提起し、起る頻りに他を強要し、所謂労働

衝突の形式を採り、怠業、威嚇、罷業の舉に出づべしとは實に當工場に意表に出る處

殊に最近従業員中一部少数の者は所謂階級闘争、社會組織の改造と目的達成の手段として

善良なる従業員を煽動強迫し、徒らに争議を惹起せしめ、多数従業員並に其家族幾方の町民

を犠牲にせざる慮せざるものあり、或るは當工場、深憂を堪へざる所なり。

畢竟之當工場不徳の致すところなり、或るは當工場が多年採り來れる處置に誠意と

を顯せず、特に國家産業重大の秋、此等に出でた以上帝國産業を爲り、一千五百の従業員及

六六十の従業員家族、幾方の町民の爲り、且又會社の爲り、最善の方法を講ずるの

第一章 休業に至る迄の經過

の制裁を加へ、以て従業員一同の反省を促すこととせり。

歐洲大戰後思想界に非常なる變化を來し、特に工業労働者間に其甚しきを見ら